

## 桐光会へのお礼メッセージ(2012年度第2期)

---

### #1

この度は、桐光会奨学金の援助をして頂き有難う御座いました。私は父を病気で亡くし、教員になろうと言う夢を諦めなければならない状況でした。

しかし、この奨学金で授業料の援助をして頂いた事で、無事に今後も目白大学で勉学に励む事が決定しました。既に他の奨学金を併用していた私は、更に奨学金を増やす事は難しく、この奨学金の存在を知りお願いを致しました。

今後も、様々な壁があるかも知れませんが、桐光会のおかげで幼い頃からの夢を諦めずにいられることに感謝し、これからも勉学に励んでいきたいと思っております。

本当にありがとうございました。

人間学部児童教育学科奨学生本人

### #2

この度は、桐光会奨学生としての採用を頂きありがとうございました。父の病気が悪化し母を看病の為に病院に泊り込んでいる間も学納金の事が頭からはなれず不安でしかたありませんでした。母は昼間は介護士の仕事をし、夜は病院で父の付き添いもしています。奨学金支給という経済的な援助の事を知り薫にもすぎる思いでした。この様な状況で桐光会奨学金を頂くことが出来、目白大学の学生として在学出来る事に本当に感謝しております。

今後は桐光会奨学生として身を引き締め精一杯取り組んでいきたいと思えます。

本当にありがとうございました。

人間学部心理カウンセリング学科奨学生本人

### #3

この度は、桐光会奨学生として採用して頂き誠にありがとうございます。母を亡くして間もなく父の退社が重なり、未だかつて無い不安が続いておりました。桐光会の皆様をはじめとした周囲の方々の支えにより、安心して学生生活に臨めることを本当に幸せに感じます。

この心温かい支援を決して無駄には致しません。今後は立派な社会人になるべく日々勉めてまいります。

人間学部心理カウンセリング学科奨学生本人

#4

この度は世情厳しき中にも関わらず、桐光会奨学金を給付頂けますことを心より厚くお礼申し上げます。父が亡くなり、大学生活に不安を感じた事もありました。しかし、就職活動が始まり自分と向き合う中で、残り少ない大学生活の中で努力を怠らず、目標に向かい一層勉学に励む事を決意致しました。ご支援誠にありがとうございます。精一杯頑張ります。

人間学部心理カウンセリング学科奨学生本人

#5

この度は桐光会の奨学生として採用して頂き誠に有難うございました。桐光会の奨学金が受け取れるとは思っておらず、採用の連絡を頂いた時にはとても驚き、また嬉しく思いました。私以外にもこの奨学金を必要としている人がいる中で、選んで頂けた事を光栄に思います。今後も母と共に一生懸命頑張っていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

人間学部人間福祉学科奨学生本人